



NIPPON SCOUT JAMBOREE INFORMATION

第4号

第19回日本スカウトジャンボリー
ジャンボリーインフォメーション
2026年5月1日発行

大会参加者8,000人が集結！

参加確定申込状況の速報値をお知らせします。(4月20日時点の速報値であり、今後、増減する可能性があります)
派遣隊約5,800人、大会運営スタッフ約1,400人、派遣団本部スタッフ約350人
海外隊：7の国と地域から約450人(うちスカウト約340人)、ガールスカウト約20人
(オーストラリア、カナダ、台湾、イタリア、韓国、アメリカ、イギリス)

<ul style="list-style-type: none"> ■救護体制・健康管理・・・1-2 <ul style="list-style-type: none"> 個人・隊の応急処置 健康調査と保険証 サブキャンプ救護所 中央救護所 ■見学者情報・・・・・・2-3 <ul style="list-style-type: none"> 見学日程 見学の範囲 交通・宿泊 申込方法 見学費 ■サブキャンプライフ・・・・3 	<ul style="list-style-type: none"> ■プログラム・・・4-8 <ul style="list-style-type: none"> 会場内プログラム ジャンボリー日本一プログラム ジャンボリーアワード 全体行事 フリーパフォーマンス募集 ジョイン・イン・ジャンボリー ローインパクトジャンボリー ■配給と献立・・・・9 <ul style="list-style-type: none"> 保冷パック・保冷剤の準備 食物アレルギー対応について 水の配給について 災害時対応について スタッフの食堂対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■セーフ・フロム・ハーム・・・10 ■安全管理・・・・・・10 <ul style="list-style-type: none"> 隊での安全管理体制の構築 期間中の安全管理 ヒヤリハット報告書の運用 ■リスニングイヤーの配置・・・10 ■スカウト通信員について・・・11 <ul style="list-style-type: none"> スカウト通信員 主な活動内容 期間中の活動 本プログラムで身につく力
--	---	---

救護体制・健康管理

個人・隊の応急処置

すべての参加者は、小さなケガや病気に備えた応急手当キットと、既往症がある場合には大会日数に応じた医薬品と「お薬手帳」を持参してください。また、派遣隊ではスカウトに応急手当用品を使えるよう指導をし、派遣隊でそれらの備品を準備してください。

健康調査と保険証

すべての参加者は、別途連絡する時期に健康調査情報をGoogle フォームで回答していただきます。回答いただいた情報は、大会期間中の各救護所での診療や緊急時の連絡先として利用します。

また、大会期間中は場外病院での受診に備えて、マイナ保険証を持参するか、できない場合にはマイナポータルから確認・取得できる「医療保険の資格情報のPDFファイル(もしくは印刷したもの)」または「資格情報のお知らせ」や「資格確認書」のコピーを各自で携帯するようにしてください。

サブキャンプ救護所

派遣隊で対応できない応急処置を行うための救護所を各サブキャンプに設置します。
開設期間：8月4日(火)～8月9日(日) 予定

診察時間：9:00～17:00

(17:00～翌日9:00までは中央救護所で対応します。)

設置場所：各サブキャンプ本部地域

対応範囲：

各サブキャンプ本部に設置する救護所テント内では傷病者に対する初期対応と応急処置を行います。サブキャンプ救護所での応急処置を超える傷病については、中央救護所との間で連絡・調整を行います。

サブキャンプ救護所では、参加者が持参するインシュリンなど保冷の必要な医薬品を保存する冷蔵庫の設置を検討中です。

中央救護所

中央救護所では、会場内での可能な限りの医療処置を行います。検査や手術など複雑な処置が必要な場合は近隣の病院へ搬送します。場外病院での治療・薬代は自己負担となるほか、スカウトの場合には引率する指導者が必要となり、会場・病院間の移動は派遣団で対応することがあります。

開設期間：8月2日(日)～8月10日(月)

開設時間：9:00～20:00

(20:00～翌日9:00の間は時間外対応となります。)

(8月2日(日)は14:00から開設します。)

設置場所：ティアガルテン管理棟

対応範囲：

キャンプ生活が困難な傷病者を受け入れ、会場内で可能な範囲の医療行為を行い、その範囲を超える場合は場外の近隣病院へ搬送します。

暑い環境下での野外活動を支障なく行うため、ジャンボリー参加前少なくとも2週間は睡眠を十分にとり、疲れを持ちこまないよう体調管理に努めましょう。

**見学者情報**

今大会では、より多くの方にスカウト運動や大会の意義を理解していただくため、見学者を受け入れ、大会の一部を体験できるようにします。加盟員であるスカウトや指導者、その家族、地元の住民などを広く歓迎します。駐車場の確保や会場内の混雑を避けるために、期間中を通じて延べ3,300人程度を予定しています。

見学日程

大会のプログラムや全体行事の実施時間帯に合わせて設定します。

日程	見学時間	主な行事	定員数
8月4日(火)	17:00~21:00	スカウト入場・開会式	200人
8月5日(水)	10:00~17:00	プログラム	500人
8月6日(木)	10:00~17:00	プログラム	500人
8月7日(金)	10:00~21:00	ジャンボリー大集会	800人
8月8日(土)	10:00~17:00	プログラム	500人
8月9日(日)	10:00~21:00	プログラム・閉会式	800人

※見学時間帯は、今後変更になることがあります。最新の情報を必ず確認してください。

※定員には、開催地の小中学生を対象とした一般参加プログラム参加者数を含みます。

見学の範囲

プログラムエリアや、自団の参加者が配属されたサブキャンプを見学できますが、全体行事実施日の16:30以降はサブキャンプに留まることはできません。また、全体行事の見学については、アリーナに見学者用の着席位置を指定します。

ご希望により、会場内のガイドツアーも可能です。

交通・宿泊

車両を利用する場合は、会場近隣に設ける見学者駐車場を利用し、会場までシャトルバスで入場してください。

貸切バスを利用する場合は、会場内のバス乗降場所まで入場できますが、降車後は見学者駐車場へバスを移動し待機してください。

見学者は会場内での宿泊はできません。見学に際して会場外での宿泊が必要な場合は、見学者自身での手配をお願いします。大会による宿泊斡旋は行いません。

申込方法

見学は事前申込を基本とし、専用ウェブサイトで見学者に関する情報（人数、駐車場の有無・台数、シャトルバス希望時間※必ず同日の往復を指定、ガイドツアーの要否等）を入力し、事前申込を行います。複数日の見学を希望する場合は、日程別にそれぞれ申込を行います。事前の申込が定員数に達した場合はその段階で申し込みは終了となります。

なお、申込時期は6月～7月上旬頃を予定しております。今後の情報をご参照ください。

見学費

会場受付時に渡す見学者用バッジや資料、場外駐車場から会場までのシャトルバス料金、見学者が参加できるプログラムの費用として、見学費を納入していただきます。納入方法については、今後の情報をご参照ください。

開催地である神石高原町民の方は、1回に限り無料とさせていただきます。



サブキャンプライフ

ジャンボリーの生活は、サブキャンプでの野営生活が中心となります。全国から集まった仲間たちとともに、班で協力しながら6泊7日を過ごします。テント設営、炊事、配給、衛生管理・・・等そのすべてを自分たちの手で行う生活は、ジャンボリーならではの大きな魅力です。

本大会では、サブキャンプでの生活をより安全かつ充実したものとするために、『野営管理ハンドブック（サブキャンプ編）』を作成しており、4月後半に発行予定です。

本号では、その内容の一部をご紹介します。

サブキャンプでは、1こ隊40人に対して600㎡を標準としたキャンプサイトを割り当て（一部傾斜などの都合で変形地があります）し、その中で班サイトを設け、生活します。

テントや炊事スペース、資材置き場などを自分たちで配置し、安全で効率的なサイトを作り上げていきます。通路の確保や火気の位置、共有スペースの使い方など、工夫次第で生活のしやすさは大きく変わります。

皆さんのサブキャンプとなる場所は、ゴルフ場をお借りしています。テントやフライのペグやピンの抜き忘れが無いように撤営時の確認を徹底してください。退場後に野営工作の杭の穴がゴルフボールが入るような穴とならないよう、細めのペグ・ピンの使用など工夫をお願いします。また、ゴルフ場ですので、側溝を掘ることができません。全面芝生ですので、立ちかまどに使えるような盛り土もありません。事前に隊でどのような工夫が必要か班長会議で相談して念入りな準備をお願いします。

食事は配給された食材をもとに、班で炊事を行います。限られた時間と資材の中で、火を起こし、調理し、片付けまで行う一連の流れは、スカウトスキルを実践する絶好の機会です。仲間と協力して作る食事は、きっと特別なものになるでしょう。

また、サブキャンプでは水や資源も限られています。地域の水道を分けてもらうため、シャワーやトイレを除く炊事などに使う水道水は1こ隊40人あたり1日300L以下に抑制するなど、計画的な利用が求められます。洗い物の工夫や節水、資源を大切に使う意識が、快適な生活につながります。トイレやシャワーなどの共用設備は、すべての参加者が利用します。気持ちよく使えるよう、ルールを守り、互いに配慮することが大切です。

あわせて、体調管理にも十分注意し、仲間同士で声をかけ合いながら健康を維持しましょう。

夜間は活動が制限され、落ち着いた時間となります。移動は複数で行い、ライトを携行するなど、安全に配慮した行動を心がけてください。昼間のにぎわいとは異なる、静かなキャンプの時間もジャンボリーならではの魅力です。

ジャンボリーのサブキャンプは、「ちかい」と「おきて」を日々の生活の中で実践する場です。役割を果たし、仲間と協力し、課題を乗り越えていく経験は、スカウトとしての大きな成長につながります。

このサブキャンプでの生活そのものが、ジャンボリー最大のプログラムです。



プログラム

会場内プログラム

会場内では次のテーマをもとにプログラムを展開します。

ジャンボリープログラムをより一層楽しむためには、日頃から訓練しているスカウトスキルに磨きをかけて、参加しましょう。

プログラムテーマ

テーマ①：競技的プログラム

進級課目と関連させた個人や班の対抗競技により、一つ上の進級を目指すプログラム

テーマ②：チャレンジプログラム

新たなことに挑戦し、自身を成長させるプログラム

テーマ③：知的・体験プログラム

自然や科学、伝統、文化などの体験を通して将来の進路選択に向けたキャリア形成につなげることができるプログラム

テーマ④：人権・平和プログラム

人権・平和、多様性・公平性をテーマにさまざまな体験により、SFHやDEIを促進させるプログラム

テーマ⑤：環境・防災プログラム

自然の中で考え・実践していくロールプレイ要素を兼ね備えたプログラム

信仰奨励・奉仕活動・植樹プログラム

隊や班におけるスカウトOWN・サービスを通して、「ちかい」と「おきて」の実践や平和や環境などについて考え、スカウトとして行動を起こします。はくちょう座エリアには各教宗派によるパビリオンが設置され、日々の信仰活動（礼拝等）の実施や、自身の信仰と異なる教宗派を知ることができます。

また、参加スカウト全員による植樹プログラムを実施します。

広島ピースプログラム

各県連盟から選出された代表スカウト1人は8月6日に広島市で行われる「平和記念式典」に参列するとともに各施設での平和学習に参加します。また、これに合わせて、各県連盟・各派遣隊から託された折り鶴を奉納するプロジェクトも実施します。ジャンボリー参加スカウトは、1人ひとつの折り鶴を代表スカウトへ託していただきます。

プログラムエリア

会場には神石高原町で夏に見ることができる星座の名称の5つのプログラムエリアと植樹プログラムエリアを設けます。参加者は植樹エリアを除く各エリアで複数のプログラムに参加することができます。

プログラムの内容や実施エリアは変更になる場合があります。



会場マップ2026年4月時点

はくちょう座エリア

プログラムテーマ：競技 チャレンジ 環境・防災
 エリア概要：班の協力・連携を活かしたプログラムや、ジャンボリーの目的に賛同する企業や団体が提供するプログラム、また、信仰奨励に関するプログラムを展開します。スカウトの興味や関心ごと、自分自身の将来を考えるきっかけになるさまざまなプログラムを体験することができます。
 見学・体験の可否：見学可能、一部体験可能

はくちょう座エリア	
テーマ	プログラム名称 (または協力企業・団体)
チャレンジプログラム	ハイジのぶらんこ
チャレンジプログラム	ぐらぐら一本橋
チャレンジプログラム	メリーゴーランド
チャレンジプログラム	プロウガンナー
競技的プログラム	ねらいをさだめて
競技的プログラム	丸太切 (コースター)
環境・防災プログラム	どれだけ運べる？
知的・体験プログラム	UNHCRの難民支援と私たちにできること
知的・体験プログラム	公益財団法人日本鍼灸師会
知的・体験プログラム	日本スカウトコレクターズクラブ
知的・体験プログラム	日本原水爆被害者団体協議会 広島県原水爆被害者団体協議会

わし座エリア

プログラムテーマ：競技 環境・防災
 エリア概要：地形を活かしたさまざまなプログラムを用意しています。班対抗で競い合う種目を中心に、班の協力・連携を活かしてプログラムに取り組みます。
 見学・体験の可否：見学可能、一部体験可能

わし座エリア	
テーマ	プログラム名称
競技的プログラム	バランスウォーターリレー
競技的プログラム	ハイクdeクイズ
競技的プログラム	リフトアップ!
競技的プログラム	グラスフラッグス
競技的プログラム	バランスシート
競技的プログラム	トランスofサンドバック
競技的プログラム	メデシング調理ボウル
競技的プログラム	ロープワーク・チャレンジ「結びの達人」
環境・防災プログラム	チーフリング作り (崎陽軒ひょうちゃん)
環境・防災プログラム	「ほどけばロープに変身!？」 パラコードで編む防災&アウトドアギア

こと座エリア

プログラムテーマ：競技 チャレンジ 知的・体験 人権・平和 環境・防災
 エリア概要：今大会で重要なテーマとしている、人権・平和・防災のプログラムや、ジャンボリーの目的に賛同する企業や団体が提供するプログラムを展開します。
 見学・体験の可否：見学可能、一部体験可能

こと座エリア	
テーマ	プログラム名称
競技的プログラム	言葉よ 届け!
人権・平和プログラム	未来を拓くスカウトアクション (VSのみ)
人権・平和プログラム	世界の食卓～分かち合う心を育む
人権・平和プログラム	人権ってなんだろう ～体験をもって理解しよう～
環境・防災プログラム	防災グッズ 作ってみよう
環境・防災プログラム	防災グッズ 集めよう
環境・防災プログラム	地球の歴史
チャレンジプログラム	燻製づくり体験
知的・体験プログラム	抹茶を作ろう 抹茶を飲もう
チャレンジプログラム	出張! 成田空港広島分所 ～僕らで空港を作ろう～
環境・防災プログラム	チーフリング (寄木細工)
知的・体験プログラム	オリジナル・クラフトリング ～自分だけの19NSJ記念品を作ろう～
知的・体験プログラム	プラスト体験
環境・防災プログラム	いざというときのロープ作り
知的・体験プログラム	書写
知的・体験プログラム	水引でチーフリング作り
知的・体験プログラム	アマチュア無線
知的・体験プログラム	レザークラフト
知的・体験プログラム	日本ユニセフ協会・広島県ユニセフ協会
知的・体験プログラム	空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”隊員が教える災害現場のリアル
知的・体験プログラム	空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”隊員が教える災害に役立つスキル

スカウトセンター内での実施も含まれます。



さそり座エリア

プログラムテーマ：競技 知的・体験 人権・平和 環境・防災

エリア概要：人権・平和に関する体験型プログラム、また全国さまざまな地域からのプログラムを体験できます。

見学・体験の可否：見学可能、一部体験可能

さそり座エリア	
テーマ	プログラム名称
競技的プログラム	キムス&ラン
人権・平和プログラム	平和のパズル～歴史と未来をつなぐ
人権・平和プログラム	世界の絆 「メッセージボード」
人権・平和プログラム	平和プロジェクト～未来へつなぐ祈り
人権・平和プログラム	人権と平和をつなぐ体験 ～権利から広がる平和
人権・平和プログラム	広島ピースプログラム ブース (8/8-9のみ)
環境・防災プログラム	プラスチックを探せ
知的・体験プログラム	THE 茨城検定
知的・体験プログラム	烏山和紙ってどんな紙(仮)
知的・体験プログラム	加賀水引細工(チャーム製作)
知的・体験プログラム	保護犬たちの暮らしをのぞいてみよう!
知的・体験プログラム	みんなでスケッチ! 保護犬わんわん画伯

てんびん座エリア

プログラムテーマ：競技 人権・平和

エリア概要：ジャンボリー日本一プログラムおよび人権・平和プログラムを中心に、日々のスカウトスキルを生かしたり、視野を広げたりするプログラムに取り組みます。

見学・体験の可否：見学可能、一部体験可能

てんびん座エリア	
テーマ	プログラム名称
日本一プログラム	日本一 火起こし
日本一プログラム	日本一 班旗立て(高さ)
日本一プログラム	日本一 手旗
人権・平和プログラム	体験しようバリアフリー
人権・平和プログラム	マイストーリー
人権・平和プログラム	みんなで創る理想の村 ～多様性を力に変える～

植樹エリア

プログラムテーマ：環境・防災

エリア概要：神石高原町から植樹プログラムを提供いただきました。日頃あまり携わる機会のない植樹体験を通じて、地域貢献の一助となることを期待しています。

見学・体験の可否：不可

その他、各サブキャンプで実施する「サブキャンププログラム」も用意しています。

サブキャンププログラム	
テーマ	プログラム名称
環境・防災プログラム	生ごみ どれだけ減らせる?
環境・防災プログラム	資源分別
環境・防災プログラム	ソーラークッカー
知的・体験プログラム	星空観察
チャレンジプログラム	友情ゲーム
人権・平和プログラム	みんなで創る理想の村 ～多様性を力に変える～

モジュール方式での参加

特定のエリアに参加者が集中しないよう、各派遣隊が参加するエリアを半日単位で指定し、期間中にすべてのエリアに参加できるように考慮します。プログラムには班で参加することを基本とします。なお、地域(場外)プログラムは一日単位で参加します。



ジャンボリー日本一プログラム

ジャンボリー日本一プログラムは、17NSJ ではじめて実施され、その後18NSJ、19NSJと継続的に実施するものとして位置づけられています。今大会ではスカウトスキルを用いた次の3種類の班対抗ゲームを行い、日本一を決定します。ジャンボリー期間中を通しての成績優秀班（第1位、第2位、第3位）を称え、閉会式前に表彰する予定です。日本一を目指して、準備訓練を行ってください。追加情報がある場合はに次号でお知らせします。

1. 通信（手旗信号リレー）

手旗信号の受信と送信を駆使した班対抗のタイムトライアル伝言ゲーム。

1. 班の代表は出題者から課題を受け取り、指定された「単語」を確認する。

2. 代表は指定された単語を、手旗を活用して次の班員へ送信する。

3. 最後の班員が回答を受け取り次第、出題者に指定された「単語」を伝える。

2. 結索（班旗立て）

与えられた資材で自分たちの班旗をできるかぎり高く掲げ、かつ自立させるゲーム。

1. 直径 5～10cm、長さ 1.8～2m の竹や木材が混ぜておいてあり、自由に材料を確保する。

2. スタートの合図で、5～6mm のクレモナロープを用いて、適した結びを使って資材を結ぶ。

3. 制限時間20分以内に高くかつ自立するように結索を行う。

4. 班旗の先端から垂らしたタコ糸が地面に接した場所に印をつけ、下ろしてから計測する。

ただし、制限時間以降に15秒間自立していなければ、計測の対象とはならない。

3. キャンピング（火起こし）

与えられた資材と条件の中で、素早く火を起こし、炎で資材を焼き切るゲーム。

1. スタートの合図で薪組みと火起こしを開始。火をつけるスカウトは1人ずつとする。

2. 薪組みは高さ30cmまで。その上約10cmの高さに渡した竹ひごを焼き切る。

3. 支給するマッチは2本とし、1本追加するごとに30秒を加算する。

4. 制限時間は20分。スタートの合図から、竹ひごを焼き切るまでの時間を計測する。

共通ルール

・3種類とも参加は1回限りとし、個人ではなく班としてエントリーします。

ジャンボリーアワード

ジャンボリー・アワードは、大会期間中に各プログラムへの参加を含む課目を達成したスカウトに対して授与します。達成したら参加者ハンドブックに承認のサインをもらいましょう。すべての承認のサインをもらったら、隊長に修了認定のサインをもらいましょう。

1. 基本

- (1) 「ちかい」と「おきて」の実践※
- ・ジャンボリーの生活の中で「ちかい」と「おきて」を実践する
- (2) 善行※
- ・ジャンボリー期間中、1日1回は善行に取り組む
- (3) ジャンボリーの生活◎
- ・野営生活を快適にするために、班で話し合い、日々の改善に取り組む
- ・班の仲間のために、自分の役割を果たす
- (4) 信仰、スカウトOWN・サービス※または◎
- ・各教宗派が提供するプログラム（宗教儀礼やパビリオン）に参加する

2. プログラム△

- (1) 人権・平和プログラムに参加する
- (2) 環境・防災プログラムに参加する
- (3) 次の各テーマのプログラムに積極的に参加する。
 - ① 競技的プログラム
 - ② チャレンジプログラム
 - ③ 知的・体験プログラム
 - ④ 日本一プログラム

認定者 ※隊長、◎上級班長または班長、△プログラムスタッフ

プログラム参加による 進級課目等の認定について

大会では多様なプログラムを用意しています。大会のプログラム参加が日頃のスカウト活動において進級の励みとなるよう、派遣隊でも支援をお願いいたします。

大会へは派遣隊を編成して参加することから、所属隊の隊長や班長がいない場合が多いかと思っておりますので、会場でのプログラム参加内容を「参加者ハンドブック」に記録するよう奨励してください。



全体行事

今大会の全体行事は、「”挑戦”と”応援”の舞台」をコンセプトとしています。期間中に開催する3回の全体行事が、ジャンボリーを彩ります。

開会式 8月4日(火)

“挑戦の幕開け。主役は僕らだ！”

参加者が大会の開会を祝うとともに、大勢の仲間たちとの繋がりを実感し、これから始まる大冒険への期待に胸を膨らませるセレモニーを行います。

ジャンボリー大集会 8月7日(金)

“一生忘れない強烈な感動を！”

パフォーマーも観客も一体となって盛り上がり、さまざまな文化や世界中の仲間たちとの団結を体感する、一生忘れない感動を全員で作ります。

閉会式 8月9日(日)

“永遠の仲間とともに、盛大なフィナーレを！”

ジャンボリーでのたくさんの体験に想いを馳せるフィナーレで、未来へ向かってより力強く走り出すきっかけとなるセレモニーを行います。

フリーパフォーマンス募集

“この大舞台に、君も！”

開会式、大集会、閉会式を盛大に盛り上げてくれる仲間を募集します！

ダンス、歌、一発芸なんでもOK！BS年代からRS年代まで応募が可能です。県連盟・派遣隊・・・年齢を問わず、アツいパフォーマンスを期待しております！

詳細については大会WEBサイトの募集要項をご覧ください。

ジョイン・イン・ジャンボリー (JIJ)

ジャンボリーに参加しないスカウトでも取り組むことができる、「ジョイン・イン・ジャンボリー」プログラムを大会前から展開していきます。後日、大会WEBサイト等でお知らせしますので楽しみにお待ちください。

ローインパクトジャンボリー

今大会ではゴルフ場をサブキャンプとして利用することから、野営生活に工夫が必要です。また、神石高原町の人口とほぼ同じ人数が約1週間にわたり生活することから水や通信の利用についても配慮が必要です。どのような影響が生じるか、その影響に対してスカウトとしてどのような対策をうてるか、ぜひ派遣隊のなかで考える機会を設けてください。今後、参加スカウトからの声を集めて、周知していきます。



配給と献立

派遣隊の献立については、ジャンボリーインフォメーション第3号でご紹介したとおり、神石高原のおいしいお米（無洗米）5合（750g）パックで配給できるよう準備しています。

野菜類はカットしていない新鮮な形で提供しますので、事前の訓練では、刃物の扱い方を含めて調理の練習もよろしくお願いします。

食材は、1こ隊（40人）の単位で配給します。調味料・非常食は初日に一括配給としますので、隊で保管してください。

なお、献立の昼食はパン類のみの対応を予定していましたが、おにぎりでの対応も可能となりました。パンとおにぎりを混ぜて配給し、各隊内でスカウトたちが選択できるようにします。ただし、食中毒を考慮し、派遣隊の皆さまには、保冷パック・保冷剤の持参をお願いいたします。

保冷パック・保冷剤の準備

昼食は、朝食時に携行食を配給します。写真のような保冷パック・保冷剤があれば、より安全な食事が可能です。

保冷パック（100円均一ショップ等で購入可能）
保冷剤（ケーキ等購入時に付属）
4個程度（小～中サイズ）/人

派遣隊にて保冷剤を準備し、隊ごとに隊名を記載した大きな袋に入れて、管理をお願いいたします。夕方の配給時にサブキャンプへ預けてください。翌朝の配給時には受け取り、昼食時に活用します。

食物アレルギー対応について

表示義務のある以下の8品目については、参加確定申し込み時に確認する情報の内容を参考に、配給時に置き換え対応を行うこととします。

8品目
えび・かに・小麦・そば・卵
乳（牛乳）・落花生（ピーナッツ）・くるみ

配給内容は、派遣隊においても必ず確認をお願いします。20品目については、代替品の用意はありませんので、派遣隊および個人で準備をお願いします。以上について、納入業者と、食材選定時にできるだけ置き換えをしていますが、献立によっては不可能なものもございますのでご理解よろしくお願いします。

氷の配給について

ジャンボリーインフォメーション第3号では、朝の食材配給時に1こ隊につき4貫目を配給すると案内しましたが、「夕食の配給時」に変更します。

災害時対応について

非常食としてビスケット、ゼリー等を初日に配給します。万が一、台風等自然災害で避難する場合は避難先へ非常食を持参してください。その後は、納入業者と協力を図りながら、配送ルートの変更、レトルト食品等の提供を切れ目なく受けられるよう調整を図っていきます。

スタッフの食堂対応

派遣隊と同程度（一部変更有）の献立を提供する予定とし、アレルギー対応（8品目）を行います。給食方法は、ビュッフェスタイル方式とし、水資源の確保や環境を配慮し、紙製の使い捨てを使用することとします（食器等の持参は不要です）。

・開設時間

朝 5:30～9:00

夕 18:00～21:00（※22:00）

※全体行事の実施日は22:00まで

昼食時は次の時間で食堂を開放します。

・休憩時間

10:00～14:00

食堂は、17NSJの開設時間より、長めに設定しています。成人生活エリアからの移動距離はありますが、美味しい食事を提供しますので、皆さまのお越しをお待ちしております。なお、食堂以外での食事提供は原則行いませんのでご理解、ご協力よろしくお願いします。



セーフ・フロム・ハーム

大会運営スタッフおよび派遣団本部スタッフに向けたセーフ・フロム・ハームに関する事前研修およびリスニング・イヤール向けの事前研修の実施を予定しています。

セーフ・フロム・ハーム研修では、セーフ・フロム・ハームに関する一般的な知識に加え、今大会の運用指針についても説明を行う予定です。

安全管理

安全で快適なジャンボリーとするために派遣隊において入念な準備に取り組んでください。

隊での安全管理体制の構築

①安全担当指導者の選任

各隊で安全担当指導者を選任し、安全について隊全体を見渡せる責任者を置くようにしてください。この指導者を中心として、事前訓練や大会期間中の適切なタイミングで安全教育を実施することが有効です。

②安全担当のスカウト（班員）の選任

各班で安全担当スカウトを選任してください。実施された安全教育に基づいて、スカウト自身が、班および隊の安全管理を行ううえでその中心となります。

③隊安全担当者会議の計画

事前準備、大会期間中に渡って適切なタイミングで、各隊で安全担当者会議が実施できるよう、事前に計画してください。各班の安全担当のスカウトがその役割を明確に認識し、より効果的に安全管理ができるようになります。

たとえ短時間でも「安全担当者会議」と位置付けて、計画的に会議を行うことが重要です。実施のタイミングは、朝礼後や夕食前と時間を決める等、各隊で工夫してください。

期間中の安全管理

安全管理ハンドブックを発行します。熟読のうえ、事前訓練で取り組んでください。また、期間中いつも手元に置いて確実に安全管理が行われるように努めてください。

ヒヤリハット報告書の運用

本大会では、「実際には事故や被害にはならなかったが、一歩間違えれば事故や被害を生じさせかねなかったと思われる事案を「ヒヤリ・ハット報告書」として提出いただき、大会本部として集約して事故等の予防対策を検討・実施・報告・共有していきたいと考えています。

派遣隊においては、(1)で示した安全管理体制を確実に構築していただき、必要に応じてSC本部に「ヒヤリ・ハット事案」の報告ができるようにしていただきますようお願いいたします。

リスニングイヤールの配置

今大会では各サブキャンプおよび中央救護所に、すべての参加者が気軽に悩み事などを相談できる窓口として「リスニングイヤール」を配置します。「リスニングイヤール」では大会に参加するすべての人が話しやすいスタッフ、受容的にスカウトの話を聞くことができるスタッフに担っていただくことを想定しています。

安全・警備部では、「リスニングイヤール」と連絡を密にし、セーフ・フロム・ハーム事案と判断される場合は、その内容に応じて、各派遣隊・サブキャンプによる対応の支援や、本部での対応等につなげていきます。



スカウト通信員について

スカウト通信員プログラムは、19NSJの活動や魅力をスカウト自身の視点で伝えるとともに、「記者」と「広報」という二つの役割を実践的に学ぶことを目的としています。

「記者」は、ジャンボリーの中で体験した出来事取材し、記事としてまとめる役割を担います。「広報」は、ジャンボリーの活動を外部社会へつなぐ役割であり、メディアとの関わりや情報発信の流れの理解が求められます。

本プログラムでは、この二つの役割を理解し、実践することで、19NSJの魅力をより効果的に社会へ届けるとともに、表現力および情報発信力の向上を図っていきます。

スカウト通信員

各派遣隊につき1人をスカウト通信員として選出します。スカウト通信員は、大会期間中にジャンボリーの様子を取材し、記事作成および情報発信に関わる活動を行います。

なお、派遣団としての広報活動全体の調整およびメディア対応は大会広報部が担い、スカウト通信員はその活動を理解し、一部補助的に関わるものとします。

主な活動内容

スカウト通信員は、次の活動を行います。

- ・ 活動中における取材活動
- ・ スカウトおよび指導者へのインタビュー
- ・ 写真撮影（可能な場合）
- ・ 400字程度の記事の執筆と編集部への提出（掲載は編集判断による）

また、広報活動への関わりとして、次を行います。

- ・ メディア取材時のインタビュー対応（依頼があった場合）

日本連盟公式SNSへの投稿素材（記事・写真等）の作成

※投稿は広報部による確認・承認のもと実施

期間中の活動

スカウト通信員は、大会期間中において次の活動に参加します。

- ・ キックオフ（大会初日に実施予定）
※午後2回うちのいずれか1回に参加

- ・ 日々の取材および記事執筆活動

また、希望者を対象として、次のオプションプログラムを実施します。

- ・ ジャンボリー新聞制作補助
- ・ プレスリリース作成補助
- ・ 記者クラブ体験

- ・ メディアレクでの取材体験

（実施場所：メディアセンターまたは広報部本部）

本プログラムで身につく力

本プログラムを通じて、次の力の習得を目指します。

- ・ 書く力
- ・ 伝える力
- ・ 社会に発信する責任感

また、本活動は2級スカウト以上の場合には技能章の報道章の取り組みに資する内容とします。



お問い合わせ

大会全般については、ボーイスカウト日本連盟事務局までお問い合わせください。大会への参加に関するお問い合わせは、所属の県連盟事務局までご連絡ください。

なお、神石高原町役場や関連施設へ直接のお問い合わせはご遠慮ください。



公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
Tel : 03-6913-6262

ジャンボリーインフォメーション第5号は2026年6月頃に発行する予定です。

第5号への掲載予定内容：見学者情報、大会への入退場、プログラム情報、サブキャンプライフなど